

しいの実

鈴鹿市立鈴西小学校

目指す学校像「夢と笑顔と緑がいっぱいの学校」

■ 「ダブルダッチ」クラブが、児童集会で技を披露！

鈴西小では、「手話」「バドミントン」「マジック」「折り紙」「カードゲーム」「イラスト」「ディスクゴルフ」「脳トレ」等の全部で9つのクラブが開講されています。4年生以上の子どもたちがいずれかのクラブに所属し、年間6回程、月曜日の6限目に活動します。今年度新たに開講された「ダブルダッチ」クラブには、16名の子どもたちが所属しています。ダブルダッチとは2本の縄を使った縄跳びです。ターナーと呼ばれる向かい合った二人の回し手が2本の縄を内側に回し、その中でジャンパーが技を交えながら跳ぶ競技です。2月17日(水)の児童集会では、全校で披露してくれたダブルダッチの技を見学しました。2本の大縄が交差する中を難なく跳んでいくクラブ員の姿を初めてみる子どもたちも多く、自然と拍手が沸いていました。

また、3年生が15日(月)には各クラブの活動を来年度に向け見学して回りました。3年生の子どもたちは、来年度から始まるクラブ活動に目を輝かせていました。



■ 6年生が「私の思い出の場所」を描いています！

2月15日(月)の週から、6年生が「私の思い出の場所」というテーマで風景画を制作しています。名村一宏先生(本校の学校運営協議会委員長)から①できる限り場所を狭める、②指で作った四角形で構図を決める、③遠くの物ほど小さく見える等の助言を受け取り組みました。なお、この絵は卒業式のときに体育館の壁面に飾られる予定です。



■ 6年生が、中国との友好について学びました！

2月19日(金)に、6年生が名村一宏先生(本校の学校運営協議会委員長)を招いて、先生がライフワークとして取り組まれている、桜の花で日本と中国が友好を築いていくという話を聞かせていただきました。

名村先生は、鈴鹿市に事務局のある「日中共同桜友誼林保存協会」の事務局長として、30年間余り、江蘇省無錫市の太湖のほとりでの3万本の植樹に関わってこられました。

この友好の取組は、かつて中国での戦争に加わった人が一兵隊としての「罪」を振り返り、今後は中国と日本が仲良くしたいという気持ちから始まった、草の根的な民間レベルの友好運動だったそうです。今では、この取組が、春には桜が咲きほこり年間2000万人の中国の人々が訪れる公園づくりにつながったそうです。

また、無錫市の小学生の子どもたちを鈴鹿市に招いたこともあったそうです。全校児童1500人の小学校から、成績が優秀であることと特技を持っていることを条件に、厳しい審査で15名の子どもたちが選考されたそうです。そんな優秀な子どもたちも、その当時は中国で「一人っ子」政策が進んでおり、両親・祖父母の6名から可愛がられていたため、自分で髪の毛を洗えなかった子どもたちもいたとのこと。鈴鹿市青少年センターやホームステイで過ごした子どもたちも、紙に漢字や絵を書いて交流し、白子駅からの帰国では、鈴鹿市の子どもたちと涙で別れを惜しんだそうです。

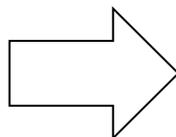
今回のお話で、子どもたちの目が少しでも中国へ、さらに世界に向かえばと思いました。



■ 防災コンテナの防災物資が移動しました！

災害が発生したときに収容避難所となる小学校には、防災倉庫のコンテナが設置され、その中に非常食や毛布などの防災物資が備蓄されています。その建屋のコンテナが2月20日(土)に江島町の武道館に移設されました。中身の防災物資については、これまでの防災倉庫コンテナのすぐ南側にある北倉庫に移され、ブルーシート等で区画され防災物資とわかるように表示されています。地域の皆さんには鈴鹿市の防災危機管理課から別途回覧がありますのでご確認ください。

【防災物資】カンパン、毛布、給水袋、非常用トイレ、発電機、非常用蛍光灯など



■ コンクール等の入賞者 (学校への連絡情報のみ, ○は学年, 敬称略)

- 佐々木信綱顕彰歌会 (小学生の部) 佳作
佳作 : ③館 蒼葉, ③吉田吏玖, ④吉村瑠菜, ⑤森 優斗, ⑤熊澤 舞,
⑤浜口祐衣, ⑥伊藤ちな
- 椿大神社短詩形文学献詠祭 (短歌の部)
③酒井莉子, ③山野亜綾, ④館 陸巴, ④吉村瑠菜, ④平山楓夏, ⑤館 悠華,
⑤岡 健斗, ⑤恩田 桜, ⑥湯浅瑛介
- J A 共済三重県小中学生書道コンクール
銅賞 : ⑥河島実虹
- J A 共済三重県小中学生交通安全ポスターコンクール
銅賞 : ③山野亜綾
- 鈴鹿ライオンズクラブカップ少年サッカー大会 第4位
- 鈴鹿市少年サッカー西部大会 二部 第4位 優秀選手賞 : ④伊藤利希斗
- 鈴鹿市少年サッカー西部大会 二部 第3位
- 鈴鹿市少年サッカー西部大会 一部 第3位 優秀選手賞 : ④西村凜音